



回答要項 (1)2019年11月XX(金)までにご回答下さいますようお願い申し上げます。
(2)回答には30分程度を要しますので、時間を確保戴くようお願い申し上げます。(3)必須項目は記入しないとアンケートが終了しませんので、Webでの画面表示に従って必須項目の回答終了をお願いします。(4)本研究やアンケート内容等について質問がある場合は木村映善@国立保健医療科学院(kimura.e.aa@niph.go.jp)に直接メールでお問い合わせください。

セクション A: 本アンケートについて

本アンケートは、これまでのオープンデータに関する研究者向けのアンケートをベースに医療分野、公衆衛生分野等の事情を加味したものを追加した内容になっております。具体的には、下記の論文で使用されたアンケートを和訳し、必要な事項を検討・修正・採用したものとっております。

[1] Tenopir, C. et al. Data sharing by scientists: Practices and perceptions. PLOS ONE. 2011 vol. 6, no. 6 <https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0021101> [2] Kuipers, T. and van der Hoeven, J. Insight into digital preservation of research output in Europe. PARSE. insight, European Commission, 2009. <https://libereurope.eu/first-insights-into-digital-preservation-of-research-output-in-europe/> [3] Ferguson, Liz. "How and why researchers share data (and why they don't)". WILEY. , (accessed 2016-09-13). <https://www.wiley.com/network/researchers/licensing-and-open-access/how-and-why-researchers-share-data-and-why-they-dont> [4]小野雅史, 小池 俊雄, 柴崎 亮介
: 地球環境情報分野における研究データ共有に関する意識調査: 研究現場の実態: 情報管理 59, 514-525, 2016.
[5]池内 有為, 林 和弘, 赤池 伸一.
研究データ公開と論文のオープンアクセスに関する実態調査[調査資料-268]の公表について,
<https://www.nistep.go.jp/archives/35219> (2017).

セクション B: 個人情報の利用について (依頼)

アンケートの進捗管理の為にCookieを利用しておりますが、本アンケートの進捗管理のためのみに利用しています。但し、複数の方が同一PCを利用して回答するようにはなっておりませんので、大変御手数ですが、個別の端末からご回答頂くようお願い申し上げます。

このアンケートに回答することにより、メールアドレスを含む個人情報の提供に同意したことになります。メールアドレスは本アンケートにおける自由回答において意図を確認させて頂きたい等、回答内容についての照会のみ用い、他へ提供されることはありません。またアンケートの回答内容は代表研究者及び分担研究者によって共有されます。アンケートの集計結果はアンケート参加者から希望があれば開示致します。集計結果の一部は論文・報告等で公表する予定です。

本研究やアンケート内容等について質問がある場合は木村映善@国立保健医療科学院(kimura.e.aa@niph.go.jp)に直接メールでお問い合わせください。



セクション C: アンケートで使われる言葉について

「データ」の定義について

今回のアンケートで対象としている「データ」とは基本的にデジタルデータ、あるいはデジタル化されたデータ（紙資料であればスキャンしてPDF化したもの等）です。

物理的な試料（生物由来物、鉱物）等は含まれません。但し、試料から採取された測定、検査結果ですとか、3Dスキャンした構造データ等は対象に含まれます。

「オープンサイエンス」の定義について

オープンサイエンスの定義について統一された見解はありませんが、大まかな傾向としては、下記の様な潮流に対する説明となっています。これまで論文をオープンアクセス化して論文のアクセス機会を増やすことによって最新の知見の入手の障壁を取り除き、学術研究を推進しようという動きがありました。さらに、この理念を推し進め、研究者が保有しているデータも公開できるものは広く公開し、市民、民間、他分野の研究領域の研究者に触れる機会を拡大し、一層の学術活動を推進していくこと、研究活動に関する透明性を確保していくこと、人類の財産としてのデータを保護すること、エビデンスにもとづいた政策の検討を可能にすること、総じて社会運営に公正と平等をもたらすこと、といった多様な理念が語られ期待されています。

オープンサイエンスについての解説はこちらの資料がわかりやすいものですので、ご関心があれば一読頂ければ幸いです。

オープンサイエンス概容 国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤センター

<https://rcos.nii.ac.jp/openscience/>

セクション D: アンケートの前に

アンケートの回答中には、ブラウザの"戻る"ボタンは利用せずに、ページ下部の「戻る」ボタンを使うようお願いいたします。

アンケートを中断される際は、右上の「あとで続きをする」をクリックしていただくとアンケートを保存・再開することができます。



セクション E: 最初に貴方の基本情報についてお尋ねいたします。

メールアドレスが一致しません。お手数ですがもう一度ご確認の上ご記入をお願いいたします。確認の為の入力欄にもご記入をお願いいたします。

E1. 所属の機関について選択してください。

- 国立保健医療科学院
- 国立医薬品食品衛生研究所
- 国立感染症研究所
- 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
- 国立研究開発法人国立がん研究センター
- 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
- 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
- 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
- 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
- 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
- 国立社会保障・人口問題研究所
- 国立障害者リハビリテーションセンター
- 独立行政法人労働政策研究・研修機構
- 独立行政法人労働者健康安全機構
- 独立行政法人国立病院機構
- 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
- その他

その他



E2. 研究者としての経験年数について記載ください。（現職場以前の研究キャリアも含めて下さい。）

- 21年以上
- 16～20年
- 11～15年
- 5～10年
- 5年未満

E3. 貴方の年齢

- 30歳未満
- 30-34歳
- 35-39歳
- 40-44歳
- 45-49歳
- 50-54歳
- 55-59歳
- 60歳以上

60歳以上

E4. あなたの性別

- 男性
- 女性

E5. 貴方のメールアドレス

本アンケートからさらに個別の事情をインタビューするために、御連絡を差し上げる可能性があります。御連絡しても差し支えなければメールアドレスをご記載下さい。

確認の為の入力



E6. アンケートの集計結果・報告書の送付を希望いたしますか？ 希望された場合は、入力されたメールアドレスにPDFデータでお送りしますので、上記項目にてメールアドレスを記載ください。送付は来年度以降の予定です。

Yes

No

セクション F: §公開データの利用状況

F1. 公開データを探す際によく利用する検索ツールや情報源では
まるものをすべてお選び下さい [5]

[5]池内 有為, 林 和弘, 赤池 伸一. 研究データ公開と論文のオープンアクセスに関する実態調査[調査資料268]の公表について,
<https://www.nistep.go.jp/archives/35219> (2017).

サーチエンジン (Googleなど)

データ情報のデータベース (Data Citation Indexなど)

学術機関のリポジトリ・データアーカイブ

出版社のリポジトリ・データアーカイブ

出版社や学術雑誌のサイト(Elsevier,Wileyなど)

論文や学術記事の参考文献

データジャーナル (簡易なデータ記述とデータへのリンクを掲載した雑誌)

政府・国際機関・出版社などの広報・ニュースレター

ブログや一般的なSNS (Facebook, Twitterなど)

学術系SNS (Mendeley, Research Gateなど)

アラートサービス(RSS等)

メーリングリスト

研究者や同僚に尋ねる・教えて貰う

利用していない

その他：具体的な内容について記載下さい。

その他：具体的な内容について記載下さい。



F2. これまでに公開データを以下の公開先から入手して利用した経験はありますか？[5]

なお、ここでお尋ねしているのは論文ではなくデータの入手についてですので、論文誌の出版社の選択肢では、いわゆる論文の補足資料(supplementary materials)からの入手などを想定しております。

[5]池内 有為, 林 和弘, 赤池 伸一. 研究データ公開と論文のオープンアクセスに関する実態調査[調査資料268]の公表について, <https://www.nistep.go.jp/archives/35219> (2017).

- 出版社 (Elsevier、Wiley-Blackwell、Springerなど)
- 論文データベース (Pubmed Central, J-Stage, 医中誌)
- 学術データアーカイブ (DDBJ[DNAの塩基配列DB]やICPSR[社会科学データ]など)
- プレプリントサーバ (BioRxiv、engrXiv、PsyArXiv、arXivなど)
- データ共有サービス (figshare, zenodoなど)
- コード共有サービス (GitHubなどオープンソースのリポジトリや、CRAN、CPANなど開発言語のライブラリリポジトリ等が含まれます)
- 学術系SNS (Mendeley, Research Gateなど)
- 厚生労働省や総務省統計局などの政府統計を公開しているWebサイト
- 国際連合やOECDなどの国際機関のWebサイト
- LIS (ルクセンブルク所得研究) などの国際的な研究グループのWebサイト
- 特定研究機関のリポジトリ・データアーカイブ (大学やNASAのリポジトリ等)
- 個人や研究室のWebサイト
- その他：具体的な内容について記載下さい。

その他：具体的な内容について記載下さい。

セクション G: §データ保持状況

G1. 貴方が生成した研究データを保持(preserve)するモチベーションについて回答下さい (公開の有無については問いません)。[2]

その他がある場合、次の質問にて回答をお願いします。

[2] Kuipers, T. and van der Hoeven, J. Insight into digital preservation of research output in Europe. PARSE. insight, European Commission, 2009. <https://libereurope.eu/first-insights-into-digital-preservation-of-research-output-in-europe/>

- | | 全く重要
ではない | 重要では
ない | どちらで
もない | 重要であ
る | 非常に重
要である |
|------------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 科学の発展に貢献する(新しい研究は既存の知識にもとづいて実施可能) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 研究が公的に支援されたものであり、研究結果は公的財産のものであるため | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |



全く重要ではない 重要ではない どちらでもない 重要である 非常に重要である

既存のデータの再解析ができるようにするため

.....

将来においてデータの検証ができるようにするため

.....

学際的な連係を推進するため

.....

他にはないデータであるため

.....

潜在的な経済的価値があるため

.....

G2. 上記以外のモチベーションがある場合は重要度も含めて記載をお願いします。

G3. 研究データの保持に関する課題について回答下さい[2]

その他がある場合、次の質問にて回答をお願いします。

[2] Kuipers, T. and van der Hoeven, J. Insight into digital preservation of research output in Europe. PARSE. insight, European Commission, 2009. <https://libereurope.eu/first-insights-into-digital-preservation-of-research-output-in-europe/>

全く重要ではない 重要ではない どちらでもない 重要である 非常に重要である

持続可能なハードウェアあるいはソフトウェアのサポートの欠如

.....

プロジェクトあるいは組織によるデータの管理が終了する可能性がある

.....

将来において利用者がデータを利用できない、あるいは理解できなくなる可能性がある（フォーマット、意味、アルゴリズム等がわかりやすい形で継承されない）

.....

データの起源、信憑性が不確かなものになることで、エビデンスとしての利用価値が失われる可能性がある

.....

データの管理場所を特定できなくなる

.....

データ管理を任せた人・組織が今後の管理において期待に添えなくなる（退職、事業中止等により管理ができなくなる、或いは、放棄する等）

.....

アクセスや利用の制約が維持されなくなる（例えばデータ利用ポリシーやデジタル著作権が将来は尊重されなくなる等）

.....

データ管理のための継続的な予算確保の欠如

.....

国による研究データに関する政策、規則の一貫性の欠如

.....

所属研究機関による研究データに関する規則・方針の不整備

.....



全く重要ではない 重要ではない どちらでもない 重要である 非常に重要である

自然災害などによるデータ保管場所の損傷

ヒューマンエラーによるデータの損失

G4. 研究データの保持に関する課題について、上記以外の回答がある場合は重要度も含めて記載をお願いします。

G5. データ保持に関する知識を増やすために有用だと思われる事項を回答下さい。[2]

その他がある場合、次の質問にて回答をお願いします。

[2] Kuipers, T. and van der Hoeven, J. Insight into digital preservation of research output in Europe. PARSE. insight, European Commission, 2009. <https://libereurope.eu/first-insights-into-digital-preservation-of-research-output-in-europe/>

有用ではない やや有用である 有用である 非常に有用である 知らない

デジタルデータ保持に関するガイドライン・マニュアルの開発

データ保持に関するワークショップの開催

デジタルデータの保持に関する国際的なプラットフォーム構築、フォーラムの開催

ユーザーに向けたデジタルデータ保持に関するトレーニング

G6. データ保持に関する知識を増やすために有用だと思われる事項について、上記以外の回答がある場合は重要度も含めて記載をお願いします。

セクション H: §データ保持の対象

H1. 研究遂行上でよく使うデータ等のフォーマット種類について、当てはまるものについて全てチェックを入れてください。[2]

[2] Kuipers, T. and van der Hoeven, J. Insight into digital preservation of research output in Europe. PARSE. insight, European Commission, 2009. <https://libereurope.eu/first-insights-into-digital-preservation-of-research-output-in-europe/>

オフィス文書(Word,PowerPoint等)



ネットワーク上のデータ(Webサイト、電子メール、チャットのテキストデータ)

画像(JPEG,GIF,PNG等)

医用画像(DICOM等)

テキスト(テキストエディタ等で編集できるプレーンテキスト)

アーカイブされたデータ(zipファイル等)

解析ソフトウェア専用のデータ書式(SAS,SPSS等統計処理ソフト用フォーマット等)

汎用の表計算ソフトウェアで読み込み可能なデータ書式(CSV形式など)

ソースコード

Rawデータ(観測機器から得られる生のデータ)

マルチメディアデータ(音声、動画等)(例:手術症例動画、インタビュー録音等)

構造化されたテキスト・データ
(アンケート、調査票、行政記録、医療情報交換文書(CDA)等)

構造化されていないテキスト・データ(インタビュー調査、意見交換のメモなど)

設定データ(ソフトウェア、データベース、機器などの設定ファイル)

構造化されたグラフ(グラフの描画に関する指示やデータが含まれたもの)

その他:具体的な内容について記載下さい。

その他:具体的な内容について記載下さい。

H2. 貴方の研究分野をよく表している分類を最大5つまで記載ください。
。分類については、e-Radにおける研究分野一覧の「分科」にもとづいています。[1] 分科名はe-Radの
<https://www.jst.go.jp/coi/download/file/keyword.pdf>
から採用しています。

[1] Tenopir, C. et al. Data sharing by scientists: Practices and perceptions. PLOS ONE. 2011 vol. 6, no. 6
<https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0021101>

test

コメント

test

コメント



test



コメント

test



コメント

test



コメント

H3. **研究でよく使うデータの分野について、当てはまるものについて全てチェックを入れてください。[1]**

[1] Tenopir, C. et al. Data sharing by scientists: Practices and perceptions. PLOS ONE. 2011 vol. 6, no. 6 <https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0021101>

非生物的調査（土壌、気候、水文学） Abiotic surveys (soils, microclimate, hydrology, etc.)

生物学的調査 Biotic surveys

データ・分析モデルの開発 Data models

実験（操作・介入を含む） Experimental (involving some degree of manipulation)

インタビュー Interviews

観察（非介入） Observational (no manipulation involved)

リモートセンシングされた非生物データ Remote-sensed abiotic data (including meteorological data)


リモートセンシングされた生物データ Remote-sensed biotic data

社会科学調査 Social Science Survey (インタビュー調査を含む)

政府統計、国際機関の統計

行政記録・行政資料 (行政記録の例: 個別相談資料、給付記録
行政資料の例: 政策、手続きなど一般に提供される資料)

文献資料 (古記録、新聞、書籍)

その他 Other : もし、他の分野のデータがある場合は記載ください。 

その他 Other : もし、他の分野のデータがある場合は記載ください。



H4. 研究データの対象物について、当てはまるものについて全てチェックを入れて下さい。

註釈：今回のアンケートで対象としている「データ」とは基本的にデジタルデータ、あるいはデジタル化されたデータ（紙資料であればスキャンしてPDF化したもの等）です。物理的な試料（生物由来物、鉱物）等は含まれません。但し、試料から採取された測定、検査結果ですとか、3Dスキャンした構造データ等は対象に含まれます。

本回答は今後の国研のデータポリシーの検討にあたって非常に重要な情報となりますので、上記選択肢に当てはまらないものがありましたら、ご面倒でも可及的に記述して頂けますと幸いです。また、このカテゴリに当てはまらないもの、あるいは回答についてご判断に迷われることがありましたら、代表研究者にお問い合わせ下さい。

- 観察データ
- 化学物質（分子）
- 生体・生物由来物
- ゲノム
- 細胞
- 組織・器官
- 生体情報
- 生体反応
- 医用画像（医用波形含）
- 社会経済情報
- 意識
- 行動
- 社会経済的地位、現状
- ライフヒストリー
- 生活習慣・ライフスタイル
- 収入・資産
- 公的支援
- マクロ的情報（国、地域ごとの集計）
- 実験データ
- シミュレーションデータ



その他：もし「その他」データがある場合はご記載下さい。



その他：もし「その他」データがある場合はご記載下さい。

セクション I: §学際的な研究データの利用

11. データの公開状況について選択してください。(複数選択可能)[2] (保有するデータが複数あり、公開に関する状況も異なることが考えられますので、当てはまるものを全て選んで下さい)

[2] Kuipers, T. and van der Hoeven, J. Insight into digital preservation of research output in Europe. PARSE. insight, European Commission, 2009. <https://libereurope.eu/first-insights-into-digital-preservation-of-research-output-in-europe/>

データの公開はしていないし、公開する予定もない

自分の研究グループのみにデータを開示している

データは全ての人に開示している

データは法律などの条件を満たす場合に限り公開している

データへのアクセスは一時的に制限している (例:公開まで1年の猶予期間を設けている等)

データの公開はしていないが、公開を検討するつもりはある

データの公開はしていないが、適切な環境が提供されれば公開できる

自分の所属している学術領域には公開している

有償でデータを公開している

契約を締結した上でデータを無償で公開している

その他：具体的な内容について記載下さい。

その他：具体的な内容について記載下さい。

12. 今後、データの公開に関する障壁となる可能性があるものについて記載して下さい(複数回答可)。[2]

[2] Kuipers, T. and van der Hoeven, J. Insight into digital preservation of research output in Europe. PARSE. insight, European Commission, 2009. <https://libereurope.eu/first-insights-into-digital-preservation-of-research-output-in-europe/>

法律等(個人情報保護法など)の制約がある

データの間違った使い方をされる可能性

データの非互換性



技術的基盤がない

予算がない

最先端の研究のアドバンテージを失う（データのフリーライドや論文執筆を先行される等）

データアーカイブへのアクセスが限られている

特に問題はない

その他：具体的な内容について記載下さい。

その他：具体的な内容について記載下さい。

セクション J: §研究データの提供状況

J1. データを提供している場合は、どのような形態を使用していますか
: [1]

その他がある場合、次の質問にて回答をお願いします。

(*1) 組織間ネットワークや共同研究者のみに開示されたサーバ等、一定の加入手続き等を経ないとアクセスできないような制限を設けている配布形態はこのカテゴリに入ります。他の所は、基本的にアクセス制限がない状態での公開を想定しています。
(*2) Wileyの調査票より組み込んでおります。 (*3) 木村研究班独自項目。

[1] Tenopir, C. et al. Data sharing by scientists: Practices and perceptions. PLOS ONE. 2011 vol. 6, no. 6
<https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0021101>

	使用して いない	たまに使 用する	時々使用 する	常に使用 している
所属機関のWebサイト・リポジトリで	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
代表研究者のWebサイト・リポジトリで	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
研究者個人のWebサイト・リポジトリで	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学会や助成機関のWebサイトで (*2)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一般公開の為のリポジトリ利用(例 Dryad、figshare) (*2)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Journalに掲載されたPaperの補遺として公開	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
研究者間に閉じた環境で(*1)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CDやUSB等の物理媒体で直接 (*3)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



J2. データの提供形態が上記に当てはまらない場合、公開方法について具体的に記述下さい。

J3. 貴方が研究データを収集および準備・使用方法についてお尋ねします。 [1]

[1] Tenopir, C. et al. Data sharing by scientists: Practices and perceptions. PLOS ONE. 2011 vol. 6, no. 6 <https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0021101>

	強く否定 する	やや否定 する	同意も否 定もしな い	やや同意 する	強く同意 する
他の研究者による研究データを収集するプロセスに満足している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分のデータを検索するプロセスに満足している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分のデータをカタログ化、説明を作成するプロセスに満足している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
プロジェクト期間（短期間）にデータを保存するプロセスに満足している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
プロジェクトの期間（長期間）を越えてデータを保存するプロセスに満足している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
データを分析するプロセスに満足している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
メタデータを準備するツールに満足している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

J4. 貴方の所属している組織・プロジェクトがデータについてどのように関与すべきと考えているかについてお尋ねします。 [1]

[1] Tenopir, C. et al. Data sharing by scientists: Practices and perceptions. PLOS ONE. 2011 vol. 6, no. 6 <https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0021101>

	強く反対 否定する	やや否定 する	同意も否 定もしな い	やや同意 する	強く同意 する
私の組織またはプロジェクトには、プロジェクトの存続期間中（短期）にデータを管理するための正式に確立されたプロセスがあるべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
私の組織またはプロジェクトには、プロジェクト（長期）の存続期間を超えて（長期）データを保存するための正式な確立されたプロセスがあるべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
私の組織またはプロジェクトは、プロジェクトの期間中（短期）にデータ管理に必要なツールと技術サポートを提供しているべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
私の組織またはプロジェクトは、プロジェクト（長期）の存続期間を超えて（長期）データ管理に必要なツールと技術サポートを提供しているべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
私の組織またはプロジェクトは、データ管理のベストプラクティスに関するトレーニングを提供しているべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



強く反対
否定する

やや否定
する

同意も否
定もしな
い

やや同意
する

強く同意
する

私の組織またはプロジェクトは、研究プロジェクト（短期）の期間中のデータ管理をサポートするために必要な資金を提供しているべきだ。

.....

私の組織またはプロジェクトは、プロジェクト（長期）の存続期間を超えた（長期）データ管理をサポートするために必要な資金を提供しているべきだ。

.....

J5. 貴方が所属している研究分野でのデータ利用に関する課題、懸念事項について意見をお伺いします。 [1][4]

その他がある場合、次の質問にて回答をお願いします。

[1] Tenopir, C. et al. Data sharing by scientists: Practices and perceptions. PLOS ONE. 2011 vol. 6, no. 6 <https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0021101> [4]小野 雅史, 小池 俊雄, 柴崎 亮介 : 地球環境情報分野における研究データ共有に関する意識調査 : 研究現場の実態 : 情報管理 59 , 514-525 , 2016.

強く否定
する

やや否定
する

同意も否
定もしな
い

やや同意
する

強く同意
する

他の研究者や研究機関によって生成されたデータへのアクセスの欠如は、科学の進歩にとって大きな障害である

.....

他の研究者や機関によって生成されたデータにアクセスできないため、科学的な探究をする機会（能力）が制限されている

.....

データの管理（保存・カタログ）が大変である

.....

利用したいデータが分散しており、収集するのが大変である

.....

利用したいデータに関するドキュメントが未整備あるいは内容が不十分である

.....

自分のデータの提供（共有・公開）の進め方がわからない

.....

データの検索、ダウンロードに時間・コストがかかる

.....

データのフォーマットの種類が多すぎる

.....

データフォーマットが統一されていない

.....

データが標準規格に準拠されていない

.....

データが生成された時の採取方法、統計手法がわからない

.....

細かい条件でデータを検索できない

.....

データの複雑さや説明不足により、データが誤って解釈される可能性がある

.....

データの品質が低いことにより、誤った解釈が導出される可能性がある

.....

データ採取当初の意図とは異なった方法で使われる可能性がある

.....



J6. 貴方が所属している研究分野でのデータ利用についての課題、懸念事項について具体的にご記載ください。

J7. データ共有についてお尋ねいたします。[1]

[1] Tenopir, C. et al. Data sharing by scientists: Practices and perceptions. PLOS ONE. 2011 vol. 6, no. 6
<https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0021101>

	強く否定 する	やや否定 する	同意も否 定もしな い	やや同意 する	強く同意 する
データセットに簡単にアクセスできる場合は、他の研究者のデータセットを使用したいと考えている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
少なくとも一部の自分のデータを制限無しで中央の（公開された）データリポジトリに配置・公開したいと考えている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分の全てのデータを制限無しで中央の（公開された）データリポジトリに配置・公開したいと考えている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
もしデータへのアクセスに何らかの条件を課せられるならば、私のデータの公開に前向きになれる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
様々なソースからのデータを統合して研究上の質問に対処できることに満足している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
様々な方法でデータを使用する幅広い研究者（異なる研究分野の）グループで私のデータを共有したいと考えている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の研究者が私のデータを利用するときに、私のデータが引用されることが重要であると考えている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
共有されたデータから新しいデータセットを作るような試みをしてみたいと思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

J8. データを公開した場合、異分野の研究によって利用できると思われますか？[5]

その他がある場合、次の質問にて回答をお願いします。

[5]池内 有為, 林 和弘, 赤池 伸一. 研究データ公開と論文のオープンアクセスに関する実態調査[調査資料-268]の公表について,
<https://www.nistep.go.jp/archives/35219> (2017).

	強く反対 する	やや反対 する	同意も反 対もしな い	やや同意 する	強く同意 する
そのままでは難しいがデータに関する説明をつけて理解できるような形で公開すれば他分野でも利用される可能性がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
データフォーマットなど互換性の問題が解決されれば利用出来る可能性がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
技術的な問題ではなく、単に他分野ではニーズはないと思う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他分野での利用可能性はわからない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



J9. データを公開した場合、異分野の研究によって利用できるか、上記以外の回答がある場合は反対・同意も含めて記載をお願いします。

J10. 他人が貴方（データ提供者）のデータを使用する場合を使用するに際して、公正な条件はどのようなものであるべきかのお考えについてお尋ねいたします。 [1]

[1] Tenopir, C. et al. Data sharing by scientists: Practices and perceptions. PLOS ONE. 2011 vol. 6, no. 6
<https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0021101>

はい いいえ

- | | |
|--|---|
| 当該データを使用した論文の共著者としてもらう | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| データを活用する研究活動について、データ提供者あるいは研究資金提供機関の正式な承認が必要である（統計法等法律にもとづく承認も含まれます） | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| データを活用する研究活動について、データ提供者あるいは研究資金提供機関の正式な引用が必要である | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| データを活用する研究活動について、データ提供者あるいは研究資金提供機関への謝辞が必要である[4] | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| プロジェクトで協力する機会（分析に関する相談、結果の解釈、研究成果の普及）を提供してもらうこと | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| データ提供者の承認なしに、いかなる形態でも（部分的であっても）データに基づく成果を公表することはできない | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| データの採取、取得、あるいは提供に関するコストを部分的にでも負担頂く | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| データ利用そのものについて承認の必要はないが、データ提供者が結果のレビューや提案をする機会がない場合は（部分的であれ）提供データに関する結果を公開することはできない | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| データ提供者にデータを利用した研究の論文の別刷りを提供すべきである | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| データ提供者は利用したデータに関する論文、プレゼンテーション、教材等の全ての成果物に関するリストが与えられること | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| データ利用に関する法的許可が必要である | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| データの相互共有に関する相互合意が必要である | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| データ提供者は利用するデータの使用目的等に関する同意書を受け取る必要がある | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |



J11.

データを公開する際のライセンス形態で相応しいと思われるものについて選択して下さい[4]

CC(Creative Commons)の各条件については、こちらをご覧ください

<https://creativecommons.jp/licenses/>

以下の選択肢は複数組み合わせることが出来ます。例) CC-表示-非営利の場合は 'CC-表示' と 'CC-非営利' の両方にチェックを入れる

[4]小野 雅史, 小池 俊雄, 柴崎 亮介 : 地球環境情報分野における研究データ共有に関する意識調査 : 研究現場の実態 : 情報管理 59 , 514-525 , 2016.

CC-表示(データ作成者についてクレジットを表示することを求める)

CC-継承(元のライセンスと同じ条件下での公開(配布)を認める)

CC-非営利(営利目的の利用を禁止すること)

CC-改変禁止(元のデータを改変しないこと)

犯罪・違反時に利用禁止

犯罪・違反時に罰則

その他:具体的なライセンス形態について記載ください。

その他:具体的なライセンス形態について記載ください。

J12. 差し支えなければ、上記のライセンスを選択する理由について端的に記述下さい。

J13. データを公開した場合、関心がある項目を選択して下さい(複数選択可)。

閲覧数

ダウンロード数

リンク数(他のリポジトリ、Webサイトからのリンク数)

オルトメトリクス(SNSやブログの言及数)

引用数(データを利用した文献数)



その他：具体的な内容について記載下さい。



その他：具体的な内容について記載下さい。

J14. 貴方が第三者にデータを提供しない、あるいは提供できないことがある場合について、その理由について当てはまるものを全て選んでください。 [4]

[4]小野 雅史, 小池 俊雄, 柴崎 亮介 : 地球環境情報分野における研究データ共有に関する意識調査 : 研究現場の実態 : 情報管理 59 , 514-525 , 2016.

提供しているので該当しない (データを提供している方はこちらを選択下さい)

データ公開に関する準備をする時間がない

データ公開に関する準備をする資金がない

データ公開にあたり要求される作業 (メタデータ作成、品質チェックなど) に対応できない

自分がまず優先的に利用する権利を行使したい

データに関する権利の問題があり公開できない

データに関する法律の問題があり公開できない

データに関する組織の規則上の問題があり公開できない

提供しても評価されない、インセンティブがない

必要としているユーザー (ニーズ) がいるのかわからない

ユーザーがデータの内容・意味を理解できず、自分のデータが誤用されるのを避けたい

適切な提供先がない。または、その存在を知らない

データ提供の経験、習慣がない

提供先の組織/プロジェクトの継続性が不安

研究助成者によってデータ公開を要求されていない[1]

(提供対象となるような) データを保有していない

利用規約を厳守しないユーザーがいる

データ提供の方法・プロセスがわからない

自分が持つデータの数・容量が多すぎる

他人に提供するつもりがない



その他：ご記載ください。

その他：ご記載ください。

J15. 上記の理由が解決された場合、研究データを公開したいと思われ
ますか？

はい

いいえ

わからない

J16. 研究機関の予算以外で、主に利用している研究助成機関から、デー
タマネジメントプラン (DMP :Data Management Plan)の提出を求
められたことはありますか？適用できるものに全てチェックしてく
ださい。 [1]

[1] Tenopir, C. et al. Data sharing by scientists: Practices and perceptions. PLOS ONE. 2011 vol. 6, no. 6
<https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0021101>

DMPの提出を求められたことはない

厚生労働科学研究費

日本学術振興会 学術研究助成基金助成金

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

日本医療研究開発機構 (AMED)

民間助成団体

その他：具体的な内容について記載下さい。

その他：具体的な内容について記載下さい。

J17. 上記で当てはまるものがある場合、その研究課題名（助成組織含め
て）についてご教示ください。可能でしたら、当該研究課題に関す
る説明があるWebサイトへのリンクを御提示下さい。



セクション K: §データに関する技能

K1. データ公開にあたり、今後受けたいトレーニング等について当てはまるものを全て選択して下さい[5]。

[5]池内 有為, 林 和弘, 赤池 伸一. 研究データ公開と論文のオープンアクセスに関する実態調査[調査資料268]の公表について, <https://www.nistep.go.jp/archives/35219> (2017).

適切なデータ形式

適切なりポジトリ

適切なメタデータ（書誌情報。作成者やキーワードなど、データを検索するために付与するデータの要約・付加情報）

データのバージョン管理法

データのバックアップ方法

データの安全な管理方法（セキュリティ）

匿名加工の基準と実施方法

知的財産権やライセンス

特にトレーニングの必要はない

その他：具体的な内容について記載下さい。

その他：具体的な内容について記載下さい。

K2. データ公開にあたり、御自身や共同研究者にかわって図書館員やデータキュレーター などの第三者による支援が必要と思われる項目で当てはまるものを全て選択して下さい[5]。 データキュレーターとは、資産として残すべきデータを選別したり、データ整形、保存、維持管理等のデータの品質向上、維持管理に寄与することを専門にした職能です。

[5]池内 有為, 林 和弘, 赤池 伸一. 研究データ公開と論文のオープンアクセスに関する実態調査[調査資料268]の公表について, <https://www.nistep.go.jp/archives/35219> (2017).

適切なデータ形式への変換

適切なりポジトリの選択

適切なメタデータ標準の選択

メタデータの作成

再利用性があるデータに整える

機関のリポジトリによるデータ公開手続き

データを異分野の研究者に紹介する



匿名加工の実施

知的財産権やライセンス

その他：具体的に記載下さい。

その他：具体的に記載下さい。

K3. データ作成・公開に関わった研究者の業績を評価するために、これまでの論文数・IFに加えて評価すべき項目について当てはまるものを全て選択して下さい。

データの引用回数

データのダウンロード数

データ提供者としてのクレジット（論文中の謝辞等含む）

データ採取の従事時間・従事プロジェクト数

データの共有件数（リポジトリへの登録回数）

その他：具体的な内容について記載下さい。

その他：具体的な内容について記載下さい。

K4. オープンデータ等について、意見、質問等がありましたら、ご記載ください。

セクションL: アンケートご協力の御礼

これで、本アンケートの質問は全てです。

「次へ」のボタンを押しますと提出が完了し、本アンケートは終了いたします。

見直しの必要がある場合はブラウザの「戻る」ボタンではなく、

本システムの「前へ」ボタンを押してご確認下さい。

ブラウザを閉じて大丈夫です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。